



二大中だより

江東区立第二大島中学校
令和7年11月17日発行
第9号
<https://2dai-chu.koto.ed.jp>

言葉を紡ぐ

校長 西田 明史

《全校朝礼講話より》

11月は、今年度2回目の「ふれあい月間」「いじめ防止強化月間」です。6月にも伝えましたが、いじめが発生したとき、多くの場合、その構造は四層になります。第一層は被害者、一人の場合が多いです。第二層は加害者、複数であることが多いです。第三層は観衆、直接いじめには関わりませんが、面白がって見ている人たちです。第四層は傍観者、「触らぬ神に祟りなし」といった考えで、下手に関わるよりも知らないふりをした方がよいと思う人たちです。

第一層の被害者が、自ら声を上げるのは難しい現実があります。第四層の人たちが、いじめを自分のこととしてとらえ、「やめなよ」と声を発したり、「嫌なことがあったね」と言って被害者に寄り添ったり、大人に相談したりすることこそ、いじめ解決のカギとなります。

「二大魂」、誰とでも、「助け合い、協力する」を実践して、いじめのない二大中にしていきたいでしょう。

今朝は、第45回少年の主張全国大会での、中学生の主張を紹介します。(抜粋)

「消えろよ。」ある日の休み時間。いつも通り少し騒がしくて、そして皆の笑い声が響く楽しい時間でした。そんな時に、私の耳に入ってきた言葉。

「お前さー、まじで消えろよ。」そう笑いながら言う姿に、私は言いようのない衝撃を受けたのです。普段ならそこまで気にせず、聞き流してしまっていた言葉。

しかし、その日はなぜかはっきりと聞こえた笑い交じりの「消えろ」が、頭に残って離れませんでした。私が言われたわけでもないのに、笑って話している中で出た冗談だとも分かっているはずなのに、なぜか私は、その言葉が気になって気になって仕方がなかったのです。「どうして、あんなに軽々しく「消えろ」が言えるのだろう。どうして、人を傷付ける言葉を笑って言えるのだろう。」そんな疑問が胸に渦巻き、誰にもその疑問を打ち明けることもできないまま、私の心はモヤモヤとした気持ちを抱えることになりました。

皆さんは動画を見たりしますか？その動画にどんなコメントが書かれているかを見たことはありますか？どんなに可愛くても、どんなに上手でもコメント欄にはこんな言葉たちがあふれています。「可愛くない」「下手すぎ」「見てられないんだけど」「動画出すのやめろ」「まじでウザい」「顔出さな」その人を否定する誹謗中傷の言葉たち。きっと軽い気持ちで書いているのでしょう。もしかしたら良かれと思って書いているのかもしれませんが。

しかし、この言葉たちを向けられた人が傷付いていないわけがないのです。

しかし、そのことに気付いている人は多くはありません。「言葉のナイフ」が簡単に誰かに向けられるようになってしまっていると私は思うのです。

ではなぜ、このような人を傷付ける言葉が軽々しく言われるようになってしまったのでしょうか。私は、先ほど触れたネットの世界が関係していると思います。テレビだけでなく、今は配信

された動画を見て楽しむ時代になりました。そして時に、人を攻撃する言葉は、「いじり」として笑いを呼びます。そしてそれは、そのまま現実の世界に戻ってきます。ネットで許されるなら現実でも言っていだろう、やっていだろうがエスカレートしていき、人を傷付けることにためらいが失われていったのだと思います。その結果、言葉の意味や伝わる思いを考えず、私たちは言葉を軽々しく使ってしまうようになってしまったのだと思います。

世の中には「言葉を紡ぐ」という言い回しがあります。言葉を「紡ぎ」、人と「繋ぐ」私たちだからこそ、伝える言葉に意味を持たせて、大切に作る生き方をしていきたいと思うのです。

言葉はたった一言で人を生かすこともできるし、その命を奪うこともできます。そのことを忘れず、大切に言葉を紡いでいきたいと思います。皆さんも、相手に思いを伝える言葉を大切に、皆が笑顔になれる言葉を紡いでいきましょう。

私も自分の言葉を誰かを攻撃するためじゃなくて、誰かを守るために、誰かを勇気づけるために使っていきたいと思います。「消えろ!」じゃなくて「一緒にいてくれてありがとう」を、私は伝えていきたいと思います。これからの未来が、言葉でも助け合い、温め合える世界になりますように。

ふれあい月間、皆が笑顔になれる言葉を紡いでください。

文化発表会

読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、何をするにもさわやかな季節、日々の学習や活動の成果を発表する文化発表会を10月25日(土)に実施しました。各学年・各教科等で取り組んできた学習成果物の展示、心をひとつにして歌声を響かせる合唱コンクール、理科発表、海外派遣発表、吹奏楽部発表を行いました。展示作品や舞台の部では、生徒一人一人の創意工夫や努力の跡がしっかりと表れており、どれも見応えのあるものばかりでした。

また、合唱コンクールでは、仲間とともに練習を重ね協力し合いながら築き上げた、想いのこもったハーモニーが心に深く響きました。



生徒の活躍

□江東区青少年交流プラザ アントレプレナーシップ育成研修活動修了証受賞 本村実代
□水泳部

第79回江東区民スポーツ大会水泳大会

バタフライ(100m)第4位 奥野結太

自由形(50m)第3位 平泳ぎ(50m)第4位 岩田花穂

自由形(100m)第3位 大津航兵

自由形(100m)第1位 背泳ぎ(50m)第4位 新井結花

自由形(50m)第1位 バタフライ(50m)第1位 中村希美

背泳ぎ(100m)第3位 玉川拓実

男子フリーリレー(400m)第2位 大津航平・石田倫也・奥野結太・玉川拓実

女子フリーリレー(200m)第2位 植田菜月・岩田花穂・中村希美・新井結花

第73回東京都中学校学年別水泳競技大会

平泳ぎ(50m)第4位 岩田花穂

個人メドレー(200m)第8位 新井結花

自由形(100m)第1位 中村希美

